

(株)美郷マッシュファームの タモギタケエキス

一般名：タモギタケエキス

成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量
タモギタケエキス	—	3.35%
フェノキシエタノール	122-99-6	0.5%
メチルパラベン	99-76-3	0.05%
塩化ナトリウム	7647-14-5	0.4%
リン酸アスコルビル Mg	113170-55-1	0.01%
水	7732-18-5	95.23%

キャリアオーバー (pH 調整剤)

成分名	CAS No.	含有量
クエン酸	77-92-9	0.2%
クエン酸 Na	6132-04-3	0.26%



1

強い抗酸化作用

活性酸素によるDNAの損傷や過酸化脂質の生成を防ぐ。過酸化脂質が体内で増加しすぎると、血管の内壁にとどまり、生活習慣病(動脈硬化、脳梗塞、心筋梗塞)を引き起こすので、その予防効果がある。

2

美肌効果

エラスチンは肌のハリや弾力を保つために必要であるが、エラスターゼ(エラスチンを分解する酵素)が働いて分解するため、ハリや弾力が失われる。エルゴチオネインは、エラスターゼ活性阻害作用があるため、しわやたるみを防ぐ。また、シミやそばかすの原因となるメラニンをつくるチロシナーゼの活性を阻害するため、シミなどの生成を防ぐ。紫外線は皮膚の表皮や真皮を構成する細胞を破壊して、シミやしわなど皮膚の老化を促進するが、エルゴチオネインは、活性酸素の働きを抑える効果があるので光による肌の老化を防ぐ。

3

その他

神経細胞、特に脳神経細胞が活性酸素によりダメージを受けると、認知証やアルツハイマー病になるが、エルゴチオネインは、活性酸素を消去するので脳細胞を保護し、アルツハイマー病の予防効果がある。(文献あり)ガン細胞の増殖を止め、生存期を延長する効果があることが2005年第96回アメリカガン学会総会で発表されている。

* このタモギタケエキスは、当社独自の抽出法により、生のタモギタケ子実体から抽出したものです。

防腐剤としてフェノキシエタノール、メチルパラベンを入れておりますが、他の防腐剤に変更することも可能です。また、さらに高濃度のエキスが必要な場合も製造することは可能です。飲料用に純粋なタモギタケエキスの製造も可能です。両社とも価格は要相談です。

大倉ケミテック株式会社
ライフサイエンス部
〒550-0002 大阪市西区
江戸堀3丁目1番31号
TEL 06-6441-3424

